

久留米大学では、受診時に患者さんから取得された試料と診療情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される試料・診療情報等は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 Growth Differentiation Factor 15 (GDF15)による自己免疫性肝疾患の診断と層別化の可能性

【試料・診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦2008年1月から西暦2018年12月の間に受診
- 2) 受診科：久留米大学病院消化器内科
- 3) 対象疾患名：自己免疫性肝炎あるいは原発性胆汁性胆管炎と診断された方

【試料・診療情報等の項目】

試料：血清（以前の採血の際の残余検体）

診療情報等：診断名、年齢、性別、生化学データ

【研究目的】

上記の試料・診療情報を使用し、自己免疫性肝疾患、主に自己免疫性肝炎と原発性胆汁性胆管炎においてGDF15が診断に有用であるか、自己免疫性肝疾患の層別化が出来るかを明らかにすることを目的とした研究

【研究期間】 久留米大学倫理委員会承認後から西暦2020年12月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する試料・情報の管理責任者）：久留米大学消化器内科 講師 有永 照子

問い合わせ担当者：久留米大学医学部消化器内科講座 有永 照子 電話: 0942-31-7561（直通）